Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 165502/1987(Laid-open No. 70225/1989) (Fuji Electric Co., Ltd.), 10 May, 1989 (10.05.89), Full text; Figs. 1 to 20 (Family: none)

BEST AVAILABLE COPY

Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 165502/1987(Laid-open No. 70225/1989) (Fuji Electric Co., Ltd.), 10 May, 1989 (10.05.89), Full text; Figs. 1 to 20 (Family: none)

公開実用平成 1-7€25

®日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平1-70225

@Int.CI.⁴

識別記号

庁内整理番号

母公開 平成1年(1989)5月10日

H 01 H 9/44

Z-7346-5G

審査請求 未請求 (全 頁)

母考案の名称

電磁接触器の消弧装置

②実 願 昭62-165502

❷出 願 昭62(1987)10月29日

②考 案 者

正光

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号 富士電機株式会

社内

②考 案 者

三男

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号 富士電機株式会

社内

⑪出 願 人

富士電機株式会社

向

原

石

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

②代 理 人

弁理士 山口 崩

明細響

- 1. 考案の名称 電磁接触器の消弧装置
- 2. 実用新案登録請求の範囲
- 1) コ字状にして間隔をおき対向配置され上側脚 片の対向側に固定接点が背面側に磁極板がそれぞ れ固瘤された2個を一対とする固定接触子、該固 定接触子の対向間を上下方向に摺動自在なホルダ に支持され前記固定接点間を橋絡開放する可動接 点を備えた可動接触子でなる接触子装置に付属さ れる消弧装置であって、前記接触子装置を極毎に 区画する消弧室の内壁幅が前記可動接触子の動作 領域内壁幅より広く消弧室を構成する両側壁に排 ガス溝がそれぞれ形成され上方が開口された絶縁 枠と、該絶縁枠に固着され前記可動接触子の上方 に位置するとともに両端が可動接触子の両端に接 近するように形成された短絡板と、前記消弧室内 に前記固定接触子のそれぞれと直交するように間 隔をおき並設された平板状の消弧グリッドと、こ の平板状の消弧グリッドの外側に配置され先端が 互に内側を向くL字状にして少なくとも外側の上

(1)

267

実明 1 - 70225

☆開実用平成 1~70225

緑に切欠きが設けられた消弧グリッドと、前記絶縁枠に着脱自在に取付けられ上方開口部を閉塞する絶縁蓋とを備えてなることを特徴とする電磁接触器の消弧装置。

2) 実用新案登録請求の範囲第1項記載の消弧装置において、消弧グリッドの少なくとも外側に位置するL字状の対向する先端級のそれぞれに切欠きを有することを特徴とする電磁接触器の消弧装置。

3. 考案の詳細な説明

〔 産業上の利用分野 〕

この考案は電磁接触器の電流遮断時の発生アークを磁気駆動により消弧する装置に係り特に消弧性能の向上を図った消弧装置に関する。

〔従来の技術〕

この種の消弧装置としてはたとえば第11図ないし第18図に示すものが知られている。図において電磁接触器は上部ケース1上に配置された接触子装置20と、接触子装置20に連結され接触子装置20を開閉操作する下部ケース2に収納された電磁石



装置30と、接触子装置20にかぶせられ接触子装置 20が電流遮断時に発生するアークを消弧する消弧 装置40とで主要部が構成されている。接触子装置 20は、上部ケース1上に間隔をおいて対向するよ うにねじ締結された主回路端子3,3のそれぞれに ねじ4.4により接続され、コ字状にして間隔をお き対向する固定接触子11,11と、固定接触子11,11 の上側脚片の対向側に固着された固定接点12,12お よび背面側に固着された磁極板 13,13と、固定接触 子 11,11 の対向間を上下方向摺動 自在に案内された ホルダ14の上端に支持され固定接点12,12と接離可 能な可動接点15,15が固着された固定接点12,12間 を 橋 絡 開 放 す る 可 動 接 触 子 16 と 、 可 動 接 触 子 16 に 接触圧力を付与する接触ばね17とを主な解成要素 として備えている。 電磁石装置30は、下部ケース 2 に固定された固定鉄心21 と、固定鉄心21 に巻装 された励磁コイル22,22と、固定鉄心21と対向配置 され接触子装置20のホルダ14に連結された可動鉄 心23と、可動鉄心23と励磁コイル22,22との間にス ペーサ24を介して弾裝された復帰ばね25と、励磁

☆開実用平成 1 70225

コイル22,22の片側のみしか図示されていない口出線26の端子27とを主な構成要素として備えている。消弧装置40は、接触子装置20を極毎に隔壁31 a. 31 a で仕切って消弧室32,32を画成するとともに、消弧室32,32の上側に位置する蓋板31 b に多数個のガス抜き孔31 c.31 c が設けられた絶縁カバー31 と、絶縁カバー31 の蓋板31 b の可動接触子16の上方位置に熱かしめで固着され、両端が可動接触子16の上の一端に接近するようにU字状に形成された短絡か13 と、消弧室22,22の隔壁31 a,31 a 間に固定接触子11,11 それぞれと直交するように間隔をおき並設された複数枚の消弧グリッド34 a,34 a;34 b,34 b.34 b.34 b.35 とで直側壁に沿う35,35とを主な構成要素として備えている。

以上の構成において、この従来装置が電流遮断時に発生するアーク50は第19図に示すように、フレミングの左手の法則LRにより電磁力fの方向に吹きとばされることになる。なおiは電流の方向、Bは磁界の方向である。このことは第11図でいえば可動接触子16の両端と固定接点12、12との間から



消弧室32,32に向けて吹きとばすことであり、吹きとばされたアーク50は消弧グリッド34a,34a;34b。34b……35,35および短絡板33へと順次転流して冷却され、絶縁カバー31のガス抜き孔31c,31cより外部に排出されて消弧すなわち電流が遮断される。〔考案が解決しようとする問題点〕



公開実用平成 → 70225

この考案の目的は前述した従来の欠点を除去し、 本体装置を大形化することなく、電流遮断時の接点間アーク滞留時間が短縮され接点消耗が少なく て長寿命化されるとともにアークスペースの縮小された電磁接触器の消弧装置を提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

うに形成された短絡板と、前記消弧室内に前記固定接触子のそれと直交するように間隔をお状の消弧がリッドと、この平板状の消弧がリッドと、か互に内側で消弧がリッドの外側に配置された地域が見た。 を向くして少なくとも外側の上級に切りを が設けられた消弧がリッドと、前記絶枠に切り を対して少なくとも外側の上級やに切り が設けられた消弧がリッドと、前記絶枠に が設けられた消弧がリッドと、前記絶枠に が設けられた消弧がリッドと、 が設けられた消弧がリッドと、 が設けられた消弧がリットとは を開えたものである。また消弧がリットの とも外側に位置する上字状の対向する先端級の それぞれに切欠きを設けるとよい。

(作用)

この考案による消弧英世においては、消弧室内 壁幅がよび消弧がリッドの幅を可動接触子の側の を関連の内壁幅より広くし、消弧がリッドを内側の で板状と外側の先端が互に内向くし字状との組合 せとするととも、一番外側の上縁に切欠きを設け け絶縁枠に切欠きと連通する排ガス構を設け とにより、電流 趣断時の接点間発生アークの 室内滞留時間が短縮抑制され接点の消耗が少な 長寿命化されると同時にアークスペースが縮小

公開実用平成 → 70225

れる。

〔寒施例〕

第1図ないし第8図はこの考案による電磁接触 器の消弧装置の一実施例を示す図で、第1図は電 磁接触器の縦断面図、第2図は第1図のA-A線 に沿う断面図、第3図は第1図のB矢視図、第4 図は接点開離途中の要部縦断面図、第5図は第4 図のC-C線に沿う断面図、第6図は接点開離完 了時の要部凝断面図、第7図は第6図のD-D線 に沿う断面図、第8図は要部分解斜視図である。 図において前述した第11図の従来装置と同一部に は同一符号を付すことで対応させ相違点について 説明する。この実施例において従来装置と相違す る点は、本体装置を大形化することなく、消弧装 置70の消弧室61,61および消弧グリッド62,62,63, 63;64,64の幅方向の寸法を接触子装置20の可動接 触子16の動作領域内壁幅よりも拡大させ、平板状 のもの62,62と直角に曲る1字状のもの63,63:64. 64 との組合せで消弧グリッドを構成し、一番外側 の L 字状の 消弧 グリッド64,64の上級にガス 抜き用

(8)

の切欠き64a.64aを設け、消弧室61,61を絶縁枠65 とこれに 着脱自在な 絶縁 蓋 66 とに分割して 絶縁 枠 65の両側線に排ガス溝65c,65cを設けたことであ る。 詳述すると、 絶縁枠 65 は接触子装置 20 を極毎 に仕切る隔壁65a,65aの消弧室61,61を区画する部 分が可動接触子16の動作領域部分より段差のある 薄板に形成されるとともに、消弧グリッド62,62, 63,63;64,64を落し込み装滑可能な間隔をおく当該 数の溝65 b と、前述した両側縁の排ガス溝65 c . 65 c とが設けられている。平板状の消弧グリッド62. 62 およびL字状の消弧グリッド63,63;64,64 には ともに帶65bの底部に係止される段部62a.62a,63a, 63 a ; 64 b , 64 b が 設けられている。また第 9 図に他 の実施例として示すように一番外側に位置するL 字状の消弧グリッド64・64の折曲げた先端縁にアー ク 50 の流れをよくするための切欠き 64 c を設けても よい。

以上の構成において、この消弧装置70 は接触子 装置20による電流遮断時の発生アーク50 を前述し た第11 図の従来装置同様に電磁力によって消弧室



公開実用平成 1 70225

61,61 に向けて駆動することになる。しかしながら消 弧 室 61,61 と消弧グリッド62,62,63,63;64,64か可 動接触子16の動作領域内壁幅より広幅となってい ることから、遮断時の内圧に差を生じて第6図に I 矢で示すようにアーク 50 が消弧 グリッド間に入 り易くなり、一番外側の消弧グリッド64,64とその 手前の消弧グリッド63,63との間に入ったアーク50 はII 矢で示すように排ガス溝65c,65cから外部に 排出されるが、その他は内部で消弧される。内部 の消弧にあたっては消弧グリッド63,63;64.64 の 先端緑が接点開極部に接近していることから電磁 力による駆動および冷却効果が有効に作用して消 弧力を向上させる。その結果第10図にこの実施例 によるアーク滞留時間53と従来装置によるアーク 潴留時間54とを比較して示すように、この実施例 の場合は大幅に短縮され、しかもアーク50の外部 への排出量が少なくなる。したがって固定、可動 の 両接点 12,12;15,15 およびその周辺部の消耗が少 なくなり、両接点12,12;15,15が同一大きさであれ ば長寿命になるとともに、外部排出ガスが少なく

()

بروريو

(10)

なるのでアークスペースを縮小することが可能と なる。

〔考案の効果〕

この考案によれば消弧室および消弧がリッドの幅を可動接触子の動作領域内壁幅より広くしむが向するとと対向に位置するもの外側に位置するととも外側の上縁に少なくとも外側の上縁に切りたきを設けたのできる。が明られば長寿命に、短縮であれば長寿命に、近後来し間であれば長寿命に、近後来して安価にするとができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図ないし第8図はこの考案による電磁接触器の消弧接位の一実施例を示す図で、第1図は電磁接触器の縦断面図、第2図は第1図のA-A線に沿う断面図、第3図は第1図のB矢視図、第4図は接点開離途中の要部継断面図、第5図は第4

(11)

公開実用平成 1 70225

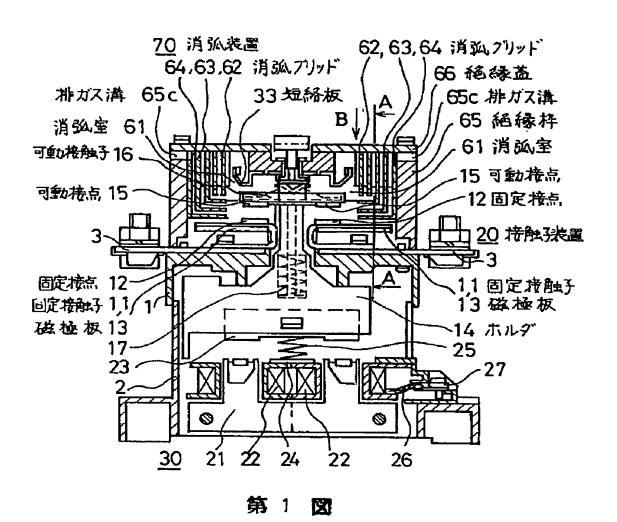
図の C - C 線に沿う断面図、第6図は接点開離完 了時の要部縦断面図、第7図は第6図のD-D線 に沿う断面図、第8図は要部分解斜視図、第9図 はこの考案による電磁接触器の消弧装置の他の実 施例の要部分解斜視図、第10図は実施例と従来装 置とのアーク滞留時間比較線図、第11図ないし第 18 図は従来の電磁接触器の消弧装置の一例を示す 図で、第11図は電磁接触器の縦断面図、第12図は 第11 図の E - E 線に沿う断面図、第13 図は第11 図 の F 矢 視 図 、 第 14 図 は 接 点 開 離 途 中 要 部 凝断 面図 、 第15図は第14図のG-G線に沿う断面図、第16図 は接点開離完了時の要部縦断面図、第17図は第16 図のH-H線に沿う断面図、第18図は要部分解斜 視図、第19図は接触子装置の遮断原理図、第20図 は横軸に時間、縦軸に電圧をとったアーク電圧波 形図である。

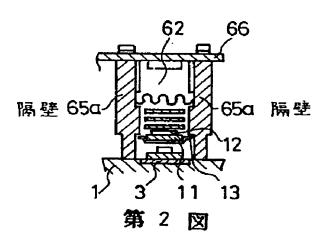
11 … 固定接触子、12 … 固定接点、13 … 磁概板、 14 … ホルダ、 15 … 可動接点、 16 … 可動接触子、 20 … 接触子装置、61 … 消弧室、62,63,64 … 消弧グ リッド、 64 a , 64 c … 切欠き、 65 … 絶縁枠、65 a …隔 (12)278

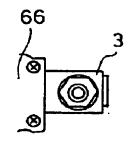
65 c … 排ガス溝、66 … 絶緑蓋、70 … 消弧装置。

代理人作理士 山 口 版

公開実用平成 1-70225



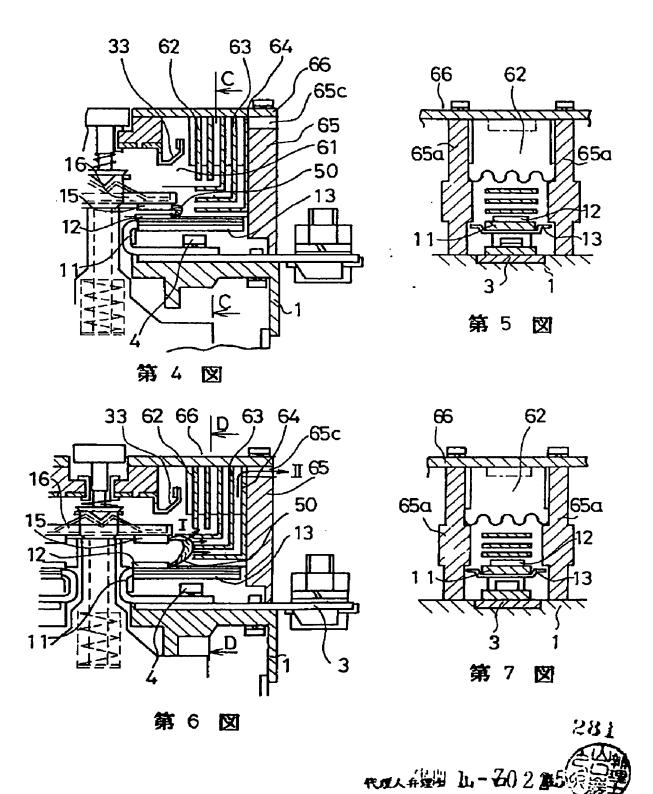




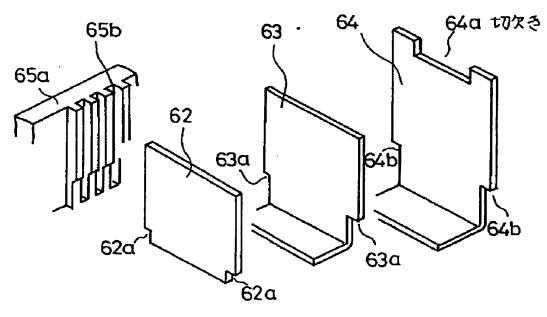
第 3 図

280

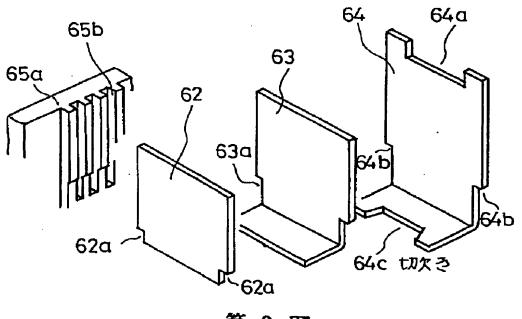
代理人实情 11-70226



公開実用平成 1- 7 225

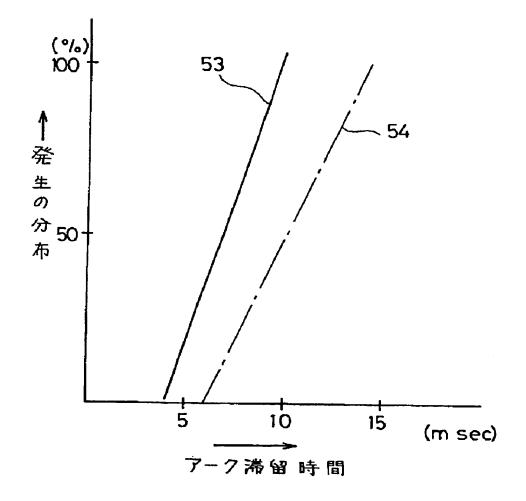


第 8 図



第 9 図

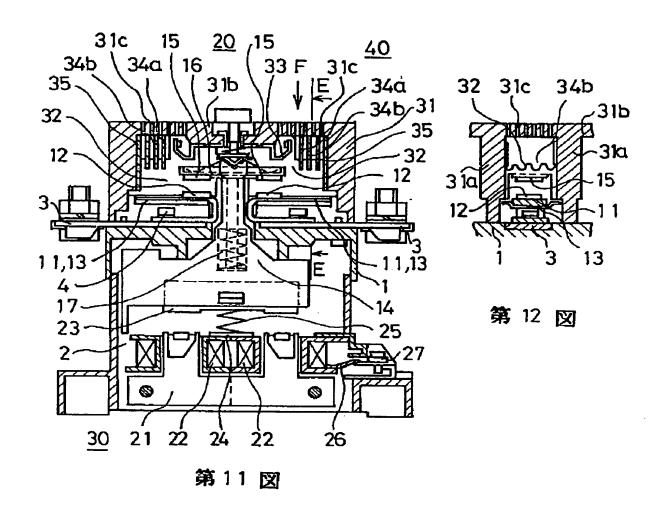
代理人并理士 山沙门 斯

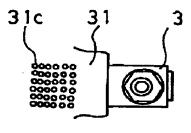


第 10 図

283 Relat 1 0 1

分開実用平成 1──0225

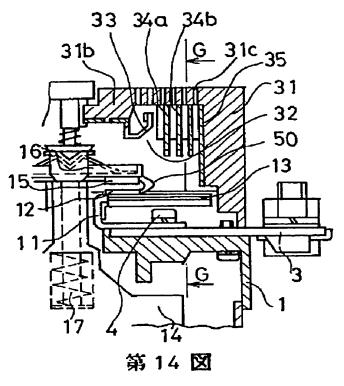


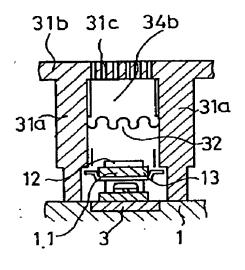


第 13 図

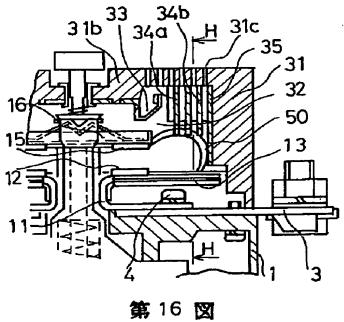
代理人并理士 山 口 概念

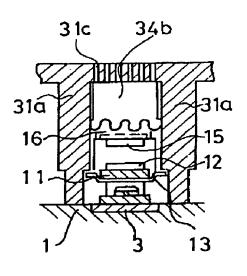
....





第 15 図



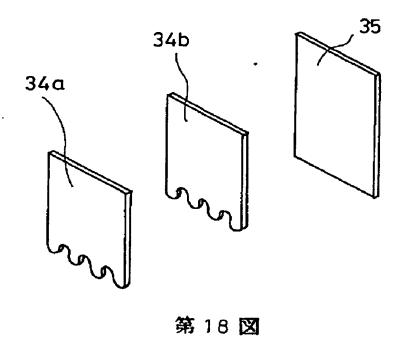


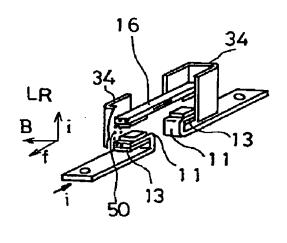
第17 図

285

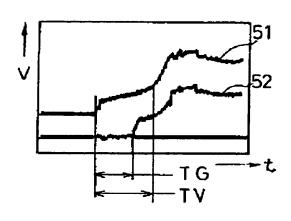
代理人年建士 山 口 葛

△開実用平成 1-70225





第 19 図



第20 図

286

代理人并理士 山 口 農 巡

This Page Blank (uspto)

This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.
As rescanning documents will not correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox

This Page Blank (uspto)